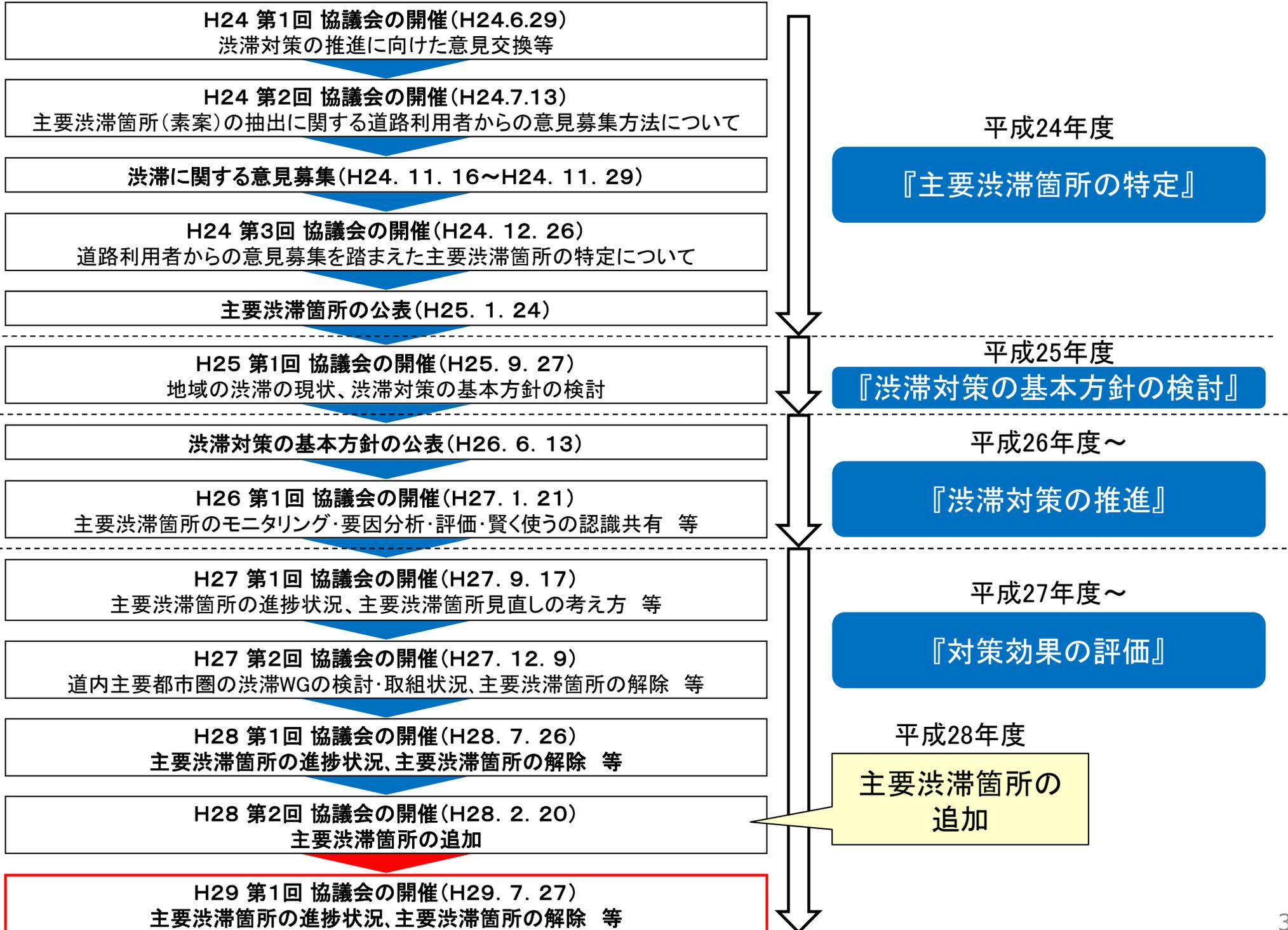


平成29年度 第1回 北海道渋滞対策協議会

平成29年7月27日

1. これまでの検討経緯	2
2. 議論いただく事項	5
3. 主要渋滞箇所を進捗状況について	7
4. 主要渋滞箇所見直しの考え方	11
5. H29 主要渋滞箇所解除候補箇所の現地確認結果	14
6. H30 主要渋滞箇所解除候補箇所	28
7. 今後のスケジュール	31

1. これまでの検討経緯



■ 渋滞対策の基本方針

- 北海道における各主要渋滞箇所の渋滞対策は、関係機関が連携し渋滞要因分析、ソフト・ハードを含めた対策の検討・取組の実施及び評価を行う。
- 主要渋滞箇所のモニタリング等による検証により、必要に応じて主要渋滞箇所や基本方針について、随時、見直しを行う。

渋滞対策の基本方針策定

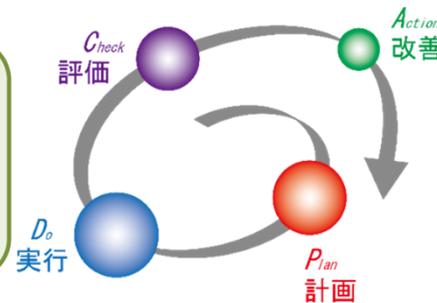
P・D・C・Aの実現による確実な渋滞対策の実施

Plan(計画) 主要渋滞箇所の対策立案

- 各主要渋滞箇所について、道路管理者や警察等が連携をして検討箇所の抽出や渋滞要因の分析、ハード・ソフト両面からの具体的な対策を立案
- 各主要渋滞箇所の対策の検討にあたっては、各道路管理者が渋滞状況、対策の方針、今後の対策、対策案の概要を整理

Action(改善) 主要渋滞箇所の見直し

- モニタリング等による検証・評価を踏まえ、主要渋滞箇所の見直し案を作成
- 北海道渋滞対策協議会において、主要渋滞箇所の見直しを議論



Do(実行) 円滑な渋滞対策の実現

- 各道路管理者が個別に立案した対策に基づき対策を実施
- 他機関の実施対策等との連携・調整を図りながら対策を実施

Check(評価) モニタリング等による検証・評価

- 最新の交通データに基づく渋滞状況の確認
 - ・対策終了後、一定期間選定基準以下 ⇒ 渋滞対策の終了
 - ・対策終了後、選定基準以上 ⇒ 新たな渋滞対策の検討
 - ・主要渋滞箇所以外の箇所が選定条件以上 ⇒ 主要渋滞箇所の追加

2. 議論いただく事項

＜議論いただく事項＞

- 主要渋滞箇所を進捗状況について
- 主要渋滞箇所を進捗状況の確認
- H29主要渋滞箇所解除候補箇所の現地確認結果
- H30主要渋滞箇所解除候補箇所
- 今後のスケジュール

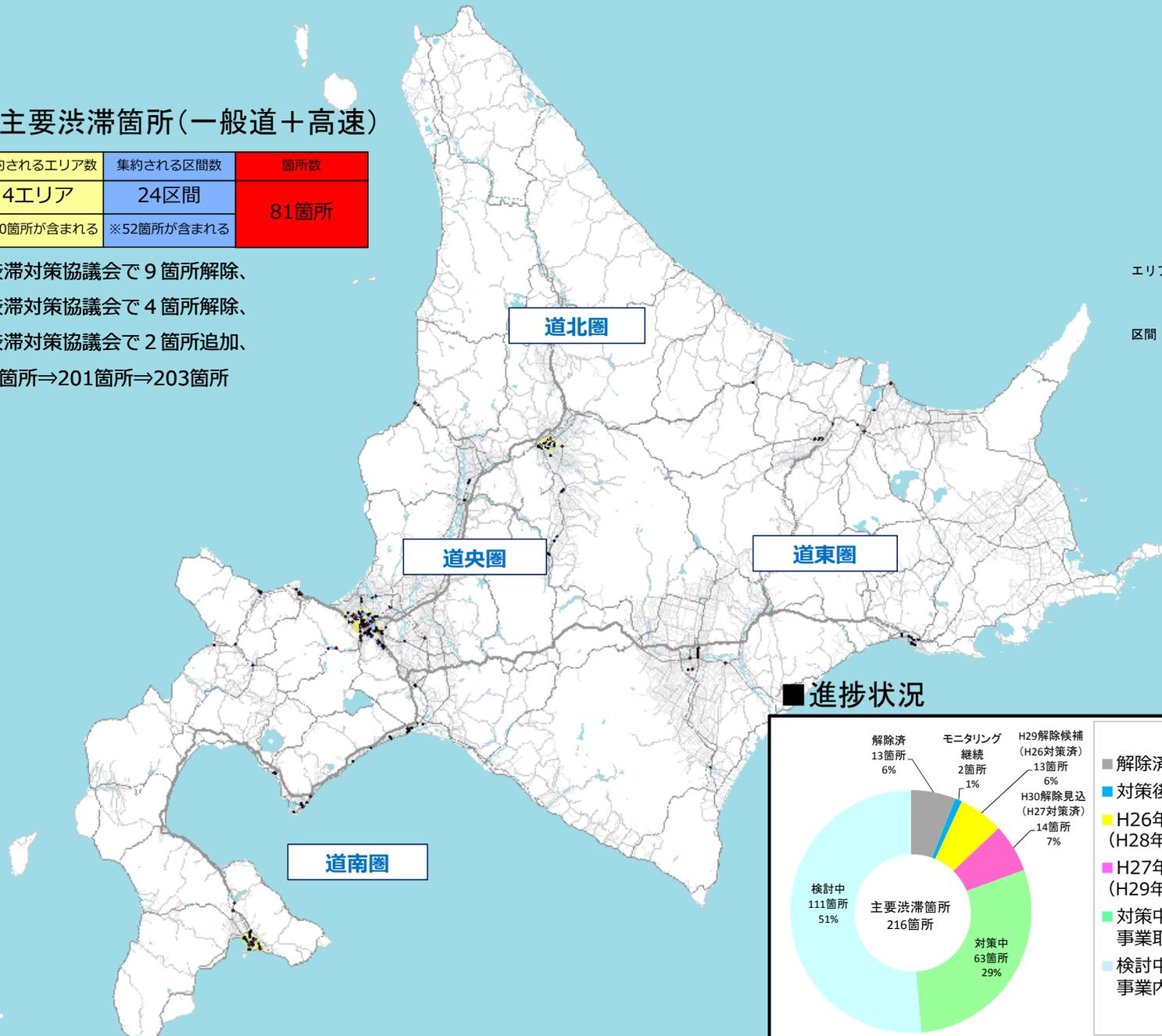
3. 主要渋滞箇所の進捗状況について

○主要渋滞箇所の進捗状況は、H24年度に選定、H28年度に追加した216箇所のうち、H28年度までに解除となった箇所が13箇所（H27に9箇所、H28に4箇所解除）、対策実施後のモニタリングを継続している箇所が2箇所、H29年度の解除候補が13箇所、H30年度に解除候補として抽出する箇所が14箇所、対策中が63箇所、検討中が111箇所。

北海道 主要渋滞箇所(一般道+高速)

主要渋滞箇所数	集約されるエリア数	集約される区間数	箇所数
203箇所 (13箇所解除)	4エリア ※70箇所が含まれる	24区間 ※52箇所が含まれる	81箇所

※H27第2回渋滞対策協議会で9箇所解除、
H28第1回渋滞対策協議会で4箇所解除、
H28第2回渋滞対策協議会で2箇所追加、
214箇所⇒205箇所⇒201箇所⇒203箇所



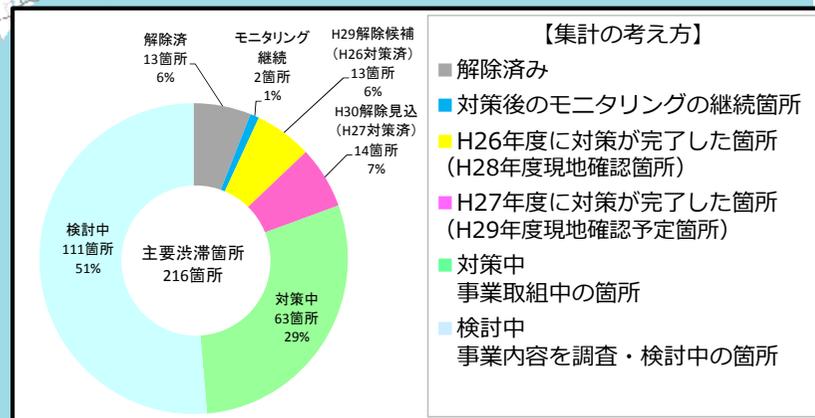
凡例

<主要渋滞箇所>
 ● 箇所
 ✕ 解除箇所
 ■ 区間
 ■ エリア

<道路種別>
 〰 高速道路
 〰 一般国道
 〰 道道
 〰 市町村道

エリア：都市部等、混雑区間・箇所が面的に広がっており、複数路線に跨り複数の主要渋滞箇所を含む区域
 区間：交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

進捗状況



3. 主要渋滞箇所の進捗状況について

- 今年度、社会資本整備審議会の基本政策部会(7/13開催)の建議にて、渋滞対策における道路利用者(バス・トラックなど)との連携強化が方向付けられたところ。
- 今回はこれまでに特定された主要渋滞箇所と、道路利用者の目線で渋滞していると認識されている箇所(意見箇所)とを照らし合わせ、状況確認を行う。

資料2

社会資本整備審議会
道路分科会
建議(案)

(案)

道路・交通イノベーション

～「みち」の機能向上・利活用の追求による
豊かな暮らしの実現へ～

平成 29 年 7 月 13 日

社会資本整備審議会
道路分科会
基本政策部会

3. 災害に強い安全性・信頼性の高い道路へ
 - (1) 大規模災害への対応
 - (2) 集中豪雨や大雪への対策強化
 - (3) 無電柱化の推進
 - (4) 占用物件の適切な維持管理
4. 円滑なモビリティの確保のために
 - (1) ICT や AI 等をフル活用した交通マネジメントの強化
 - (2) 交通流を最適化する料金・課金施策の導入
 - (3) 大規模商業施設等の対策の強化
 - (4) **トラック・バスなど道路利用者との連携強化**
5. 戦略的な人と物の流れの確保
 - (1) 平常時・災害時を問わない安定的な輸送の確保
 - (2) トラック輸送のイノベーションの促進
 - (3) 高速道路の幹線物流プラットフォームの構築
 - (4) ラストマイルの人と物の流れの確保
6. モーダルコネクタ(交通モード間連携)の強化
 - (1) 交通・物流拠点とのネットワークのアクセス強化
 - (2) バスタプロジェクトの推進
 - (3) 主要鉄道駅など広域交通拠点の利便性の向上
 - (4) モード間の情報接続の強化とシェアリングとの連携
7. 地域における産学民官の新たな連携へ
 - (1) 官民連携による都市空間の再編
 - (2) 道路のストック効果を高めるための地域・民間との連携
 - (3) 道の駅や高速道路の休憩施設等の活用促進
 - (4) すべての人にわかりやすい道案内の実現
 - (5) ICT・ビッグデータを活用した地域道路経済戦略の推進
8. ニーズに応じた道路空間の利活用
 - (1) 道路空間の利活用の更なる高度化
 - (2) 多様なニーズに対応した道路空間の再構築
 - (3) 民間団体等との連携による価値・魅力の向上
9. 「観光先進国」の実現に向けて
 - (1) 観光地への円滑なアクセスの実現
 - (2) 安全で快適な観光地の形成
 - (3) 旅行者にわかりやすい道案内の推進

V 施策の進め方についての提案

- 1 道路基盤地図^{※7}の効率的な収集や路車連携技術開発、交通流
- 2 への影響予測を踏まえたインフラの対応を検討すべきである。
- 3 (2) 交通流を最適化する料金・課金施策の導入
- 4 ・首都圏・近畿圏の新たな料金体系導入による交通への影響を
- 5 検証した上で、混雑状況に応じた戦略的な料金体系を導入す
- 6 べきである。
- 7 ・都市部の渋滞対策や環境対策として、諸外国において既に実
- 8 施されているエリアプライシング^{※8}など、交通需要を制御す
- 9 るための課金制度の導入とプラットフォームの構築に向けた
- 10 検討を進める必要がある。
- 11 (3) 大規模商業施設等の対策の強化
- 12 ・幹線道路沿いで増加する大型商業施設等による渋滞を抑制す
- 13 るため、渋滞対策推進協議会を活用した交通アクセスメント^{※9}
- 14 の強化と事後を含めた対策の確実な実施と負担を原因者に求
- 15 めるための仕組みを導入すべきである。
- 16 ・路上における占用工事による渋滞を抑制するための占用料の
- 17 見直し、交通状況等に応じた占用料のあり方の検討を進める
- 18 必要がある。
- 19 (4) **トラック・バスなど道路利用者との連携強化**
- 20 ・トラック・バス・タクシーなど道路利用者の目線から渋滞ポイ
- 21 ントを特定し、生産性を高める速効対策を展開する必要があ
- 22 る。
- 23

※社会資本整備審議会
第64回基本政策部会(H29.7.13)
資料2 道路分科会建議(案)
より抜粋(国交省HPより)

○道内の渋滞箇所を両協会より事前に聞き取りを行った。

・トラック協会からの意見箇所(40箇所)のうち、30箇所は主要渋滞箇所に該当。18箇所は検討中、10箇所は対策中、2箇所は対策済み。

・バス協会からの意見箇所(21箇所)のうち、18箇所は主要渋滞箇所に該当。7箇所は検討中、9箇所は対策中、2箇所は対策済み。

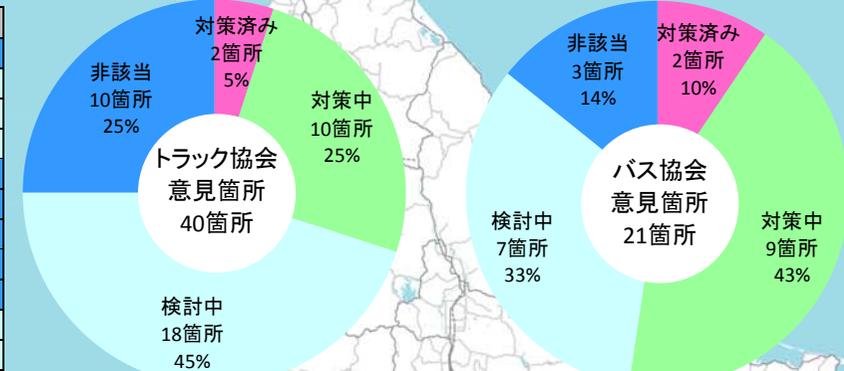
→非該当箇所においては、現地調査等により実態を把握し、状況に応じ対策の必要性について検討する。

■トラック協会意見箇所一覧(40箇所)

※範囲が広域または特定不能な箇所を除く

渋滞箇所		対策状況
国道5号	大沼IC付近	非該当
国道5号	小樽付近	検討中
国道5号	北33西9～北33東8	検討中
国道12号	江部乙	検討中
国道12号	大森駅前付近	非該当
国道12号	神居古潭トンネル付近	非該当
国道12号	環状線交差点付近	非該当
国道12号	砂川市南5丁目付近	非該当
国道12号	春志内トンネル付近	非該当
国道12号	東橋付近	検討中
国道36号	環状線交差点付近	検討中
国道36号	北広島インター付近	検討中
国道36号	札幌ドーム付近	検討中
国道36号	社台地区	対策中
国道36号	すすきの交差点付近	検討中
国道36号	美しが丘1-10交差点付近	対策中
国道36号	竹浦地区	非該当
国道38号	帯広市西19条～西2条	検討中
国道38号	国道236号交差点	検討中
国道38号	芽室～帯広～池田	検討中
国道40号	名寄～士別	非該当
国道44号	JRA付近	対策中
国道230号	札幌市南区藤野	非該当
国道230号	南区～定山溪	対策済み
国道237号	道東道占冠インター下り口	非該当
国道241号	菅更町木野市街	対策中
国道274号	丘珠線との交差点	検討中
国道274号	札幌新道大谷地付近	対策中
国道274号	札幌新道新川地付近	検討中
国道274号	パープル街道の交差点	検討中
国道274号	豊水大橋付近	対策中
国道274号	南7条米里線との交差点	対策中
国道274号	米里1-2～国道275号交差点	対策中
国道275号	雁来大橋	検討中
国道275号	札幌新道交差点付近	対策中
国道275号	北1東13交差点付近	対策済み
道道125号	国道5号との交差点	検討中
道道865号	麻生五叉路交差点	対策中
北5条通	センチュリー～石狩街道	検討中
北5条手稲通り	札幌西インター付近	検討中

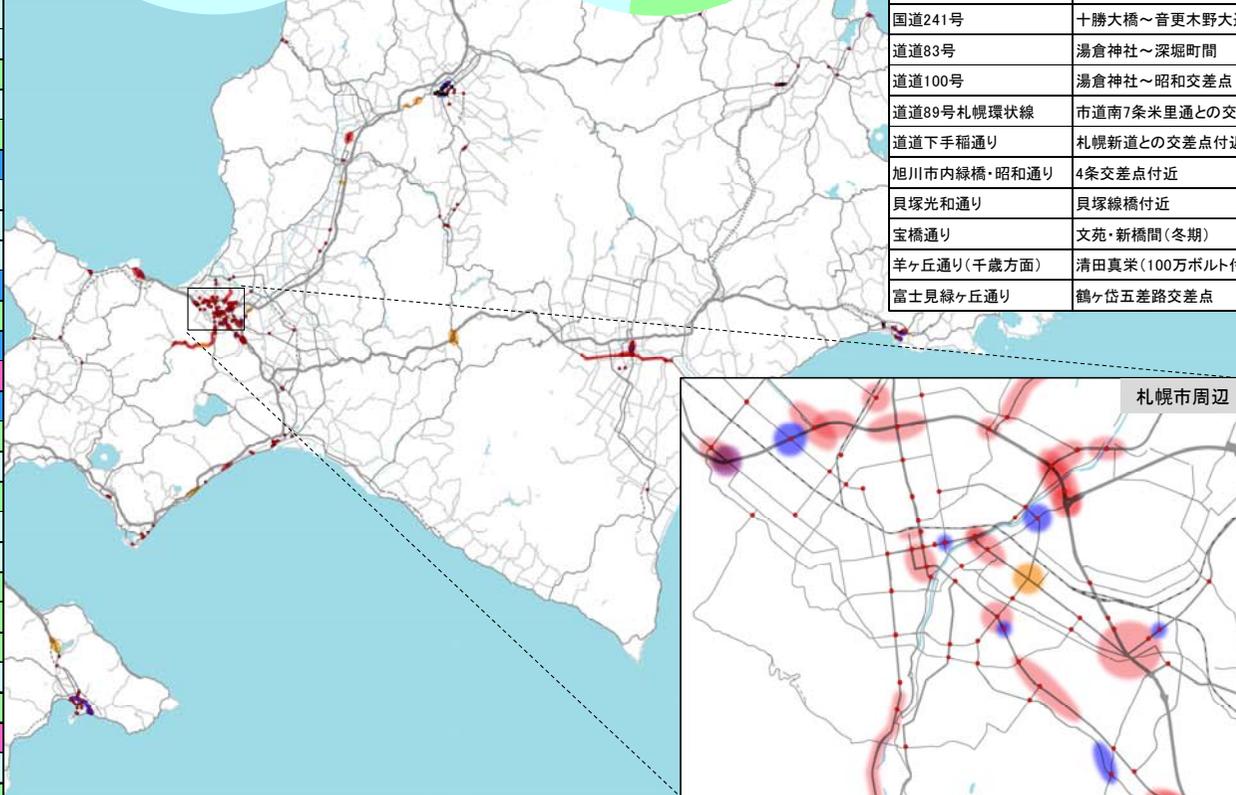
「非該当」は、主要渋滞箇所に該当しない箇所
主要渋滞箇所に該当する箇所は、その対策状況を記載



■バス協会意見箇所一覧(21箇所)

※範囲が広域または特定不能な箇所を除く

渋滞箇所		対策状況
国道5号	札幌自動車道小樽IC交差点付近	対策中
国道5号	札幌新道との交差点付近(宮の沢2条3丁目)	非該当
国道12号	もみじ台通りとの交差点付近(厚別東5条4丁目)	検討中
国道12号	北1東6交差点	検討中
国道12号	厚別中央2-2交差点	対策中
国道36号	厚別東通交差点付近	検討中
国道36号	札幌ドーム付近	検討中
国道36号	月寒中央3丁目交差点	対策中
国道39号	永山2条4丁目～4条18丁目(冬期)	対策中
国道39号	セブンイレブン前交差点(網走市北6条西7丁目)	非該当
国道40号	末広1条3丁目～護国神社交差点付近(冬期)	対策済み
国道241号	十勝大橋～音更木野大通東12丁目	対策中
道道83号	湯倉神社～深堀町間	対策中
道道100号	湯倉神社～昭和交差点	対策中
道道89号札幌環状線	市道南7条米里通との交差点	対策中
道道下手稲通り	札幌新道との交差点付近(発寒13条2丁目)	検討中
旭川市内緑橋・昭和通り	4条交差点付近	対策済み
貝塚光和通り	貝塚線橋付近	対策中
宝橋通り	文苑・新橋間(冬期)	非該当
羊ヶ丘通り(千歳方面)	清田真栄(100万ボルト付近)	検討中
富士見緑ヶ丘通り	鶴ヶ岱五差路交差点	検討中



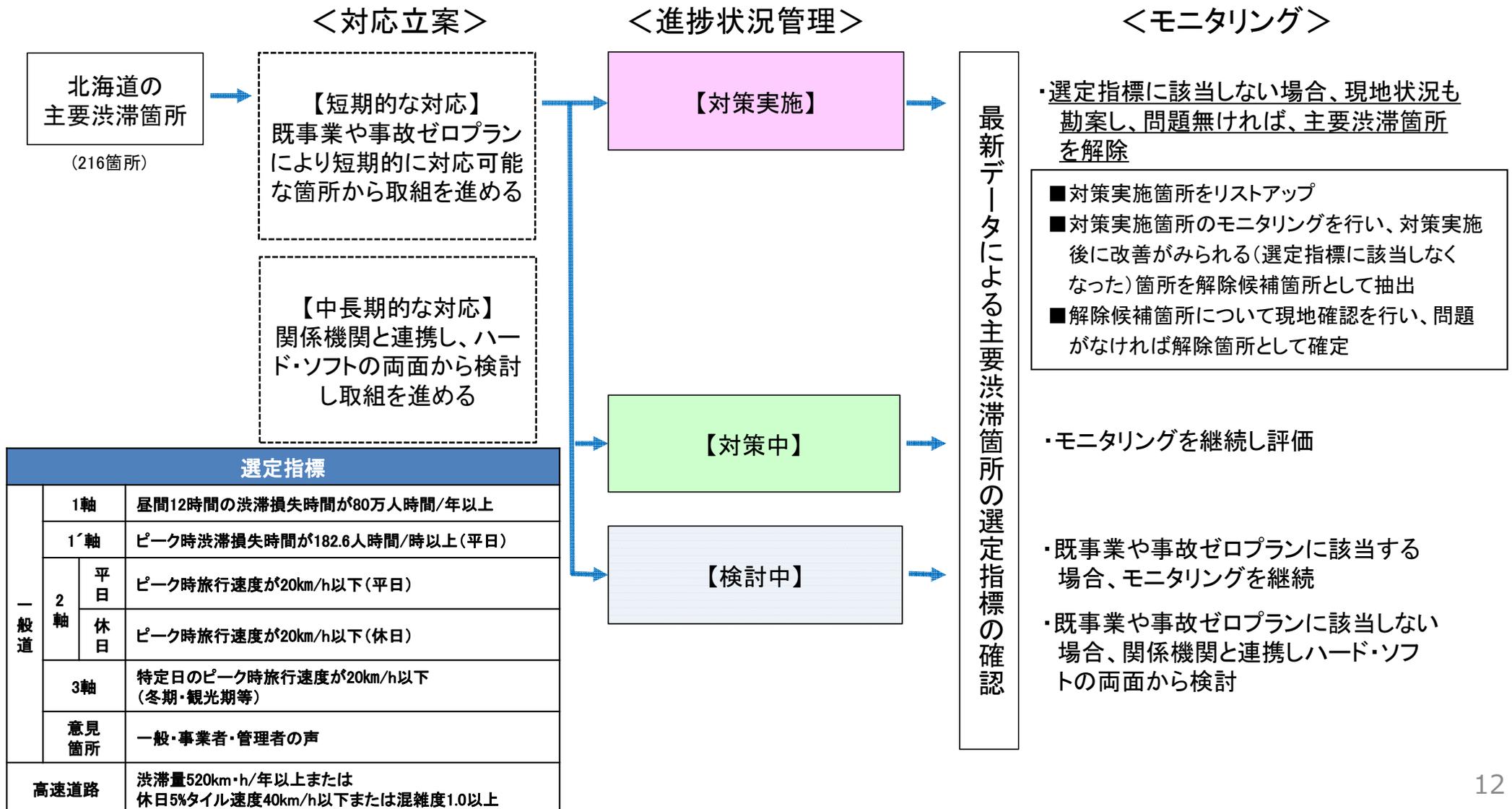
凡例

- <主要渋滞箇所>
 - 箇所
 - ✕ 解除箇所
- <トラック協会意見箇所>
 - 主要渋滞箇所に該当
 - 主要渋滞箇所に非該当
- <バス協会意見箇所>
 - 主要渋滞箇所に該当
 - 主要渋滞箇所に非該当
- <道路種別>
 - 高速道路
 - 一般国道
 - 道道
 - 市町村道

4. 主要渋滞箇所見直しの考え方

■主要渋滞箇所の見直しの考え方

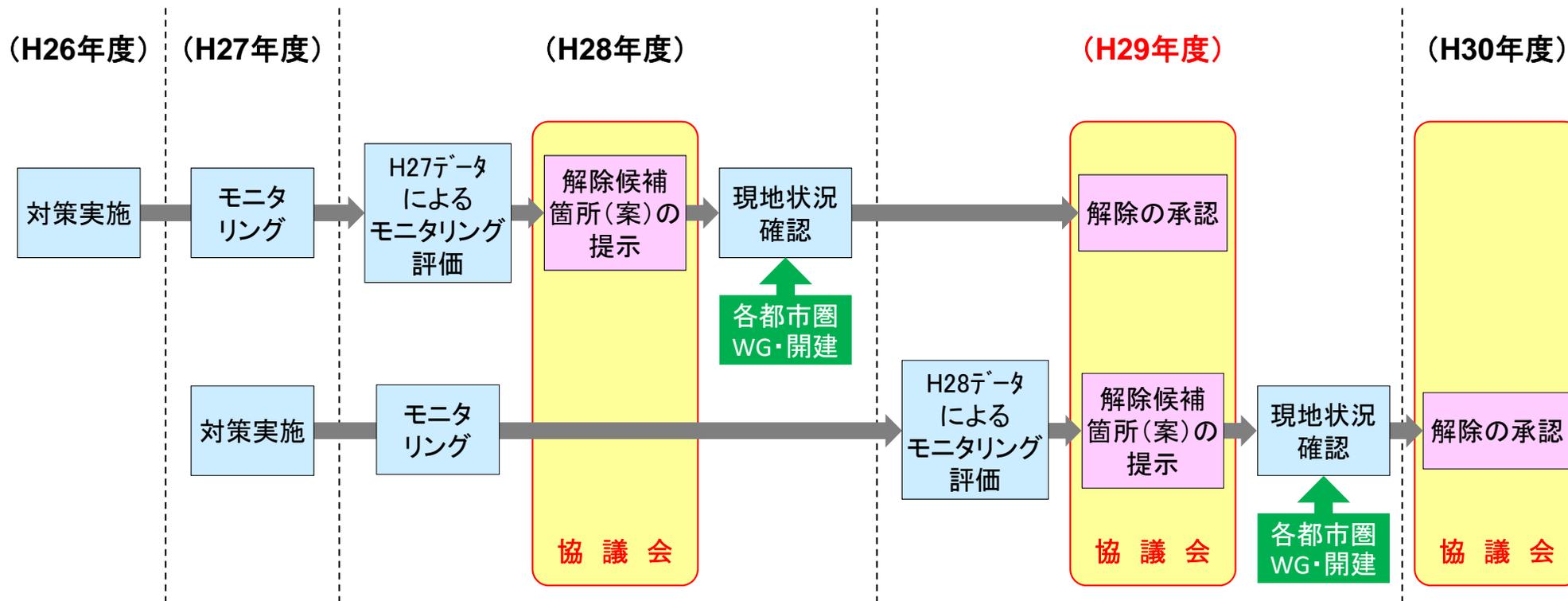
- 既事業の有無・進捗、路線の役割に応じて短期的に対応可能な箇所から対策を進め、中長期的には、関係機関と連携し、ハード・ソフトの両面から検討し対策を進める。
- 対策実施後、最新データによるモニタリングを行い、選定指標に該当しない場合、現地状況も確認の上、主要渋滞箇所を解除。



選定指標			
一般道	1軸	昼間12時間の渋滞損失時間が80万人時間/年以上	
	1'軸	ピーク時渋滞損失時間が182.6人時間/時以上(平日)	
	2軸	平日	ピーク時旅行速度が20km/h以下(平日)
		休日	ピーク時旅行速度が20km/h以下(休日)
	3軸	特定日のピーク時旅行速度が20km/h以下(冬期・観光期等)	
	意見箇所	一般・事業者・管理者の声	
高速道路		渋滞量520km・h/年以上または休日5%マイル速度40km/h以下または混雑度1.0以上	

■主要渋滞箇所見直し(解除)のサイクル

- 前々年に対策が完了した主要渋滞箇所の指標該当状況を前年のプローブデータで評価(モニタリング)した上で、7月の渋滞協において解除候補箇所を抽出・提示。
- それらの解除候補箇所について、同年度の2~3月に実施する各都市圏WG等で現地確認を行い、次年度の7月の渋滞協で解除。



○上記の主要渋滞箇所見直しのサイクルを踏まえて、本日の協議会では、下記を実施

- ・ H29主要渋滞箇所解除候補箇所 (H28年度にモニタリング評価)の現地確認結果の報告(解除の承認)
- ・ H30主要渋滞箇所解除候補箇所の提示 (H28プローブデータによるモニタリング評価を踏まえた次年度解除候補箇所(今年度の現地確認箇所))

5. H29主要渋滞箇所解除候補箇所の 現地確認結果

5. H29主要渋滞箇所解除候補箇所

■H28年度 解除候補箇所(現地確認箇所)

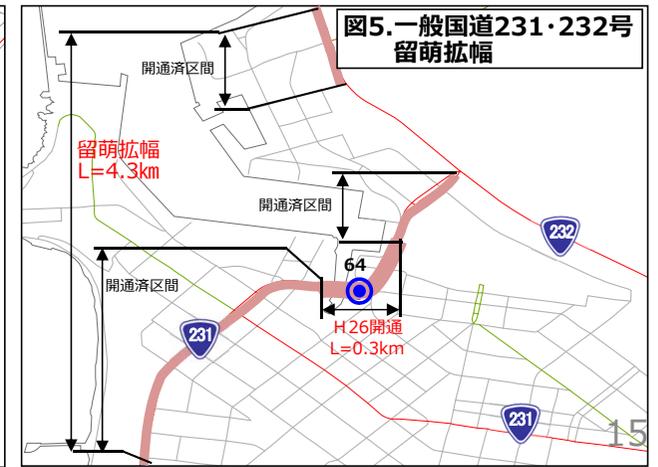
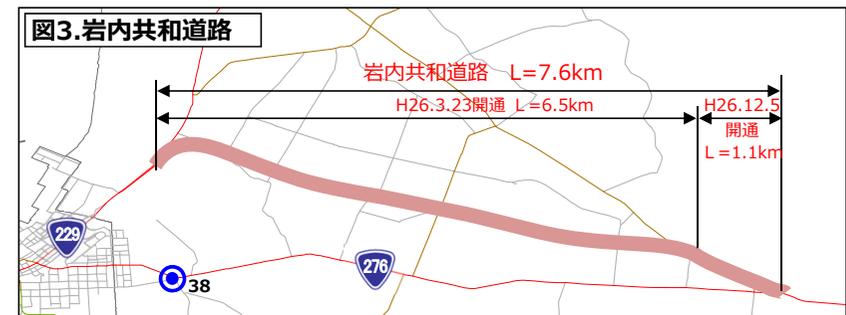
- H28年度第1回渋滞対策協議会において、H26年度までに対策が実施された主要渋滞箇所の解除候補箇所について議論。
- その結果、以下の13箇所について、現地状況の確認が必要と判断された。
→本日、H28年度に状況を確認した箇所の確認結果を報告。

<H26年度対策完了箇所一覧>

箇所名	協議会	対策内容※	実施主体	完了年度	現地確認結果	図No	
9 一般国道36号×道道西野白石線	札幌都市圏	右折車線設置(主)	北海道開発局	H26	解除	1	
17 一般国道12号×平和通(市道)	札幌都市圏	大谷地駅前通バイパス	札幌市	H25	モニタリング 継続		
		右折車線設置(主) 中央帯拡幅(主)	北海道開発局	H26	モニタリング 継続		
122 一般国道453号×道道札幌環状線	札幌都市圏	右折車線設置(主)	北海道開発局	H26	モニタリング 継続		2
123 一般国道453号×道道西野白石線	札幌都市圏	右折車線設置(主)	北海道開発局	H26	モニタリング 継続		
1206 一般国道5号×道道函館上磯線	函館都市圏	カラー舗装	北海道開発局	H24	解除		
1217 一般国道5号×市道赤川石川線	函館都市圏	函館新外環状道路 (函館IC～赤川IC)	北海道開発局	H26	解除	2	
1218 函館江差道×国道5号(函新)	函館都市圏				解除		
38 一般国道276号×八幡通(町道)	個別(小樽)	一般国道276号 岩内共和道路	北海道開発局	H26	解除	3	
48 一般国道36号×道道中央東線	個別(室蘭)	右折車線設置、 すべり止め・カラー舗装	北海道開発局	H26	解除	4	
49 一般国道36号×一般国道37号	個別(室蘭)	右折車線延伸、 すべり止め・カラー舗装	北海道開発局	H26	解除		
64 一般国道231号×栄町2号通(市道)	個別(留萌)	一般国道231・232号 留萌拡幅	北海道開発局	H26	モニタリング 継続	5	
高速2 函館新道 七飯本町IC～七飯大川IC	函館都市圏	付加車線	北海道開発局	H26	解除	2	
高速3 函館新道 七飯大川IC～函館IC	函館都市圏	付加車線	北海道開発局	H26	解除		

■ H26年度に完了した対策 ● H26対策により、H28年度に見直しを検討した箇所

※(主)は、主道路側であることを表す



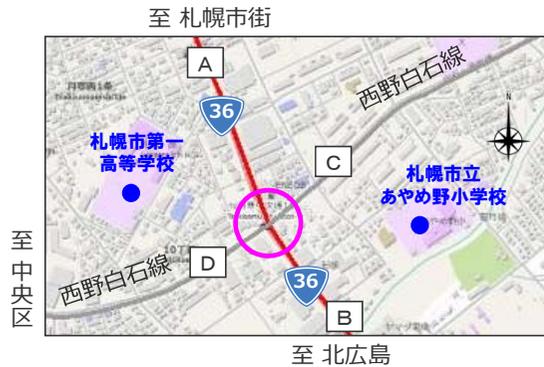
【9】一般国道36号×道道西野白石線（1'軸）:札幌都市圏WG

○ 右折車線設置(主道路側)の効果により、平日ピーク時渋滞損失時間が182.6人時間/時以下に改善。また、H28年度の現地調査においても渋滞が発生していないことを確認。

⇒主要渋滞箇所の指定を解除する。

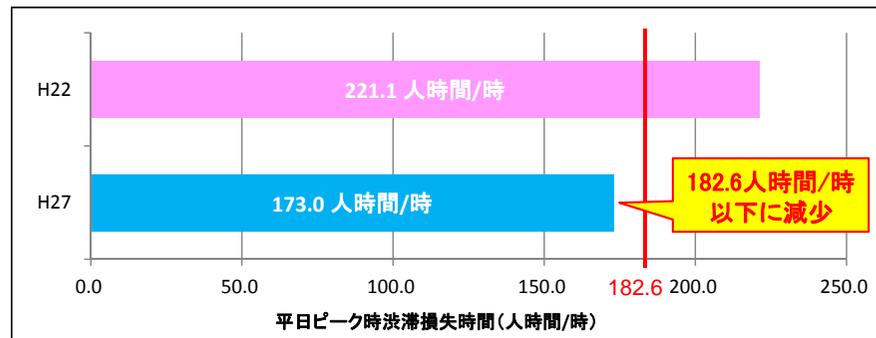
完了対策			選定時条件による 対策前評価	選定時条件による H27評価	現地確認 H28結果	解除判定
対策内容	実施主体	完了年度				
右折車線設置 (主道路側)	北海道開発局	H26	平日ピーク時渋滞損失時間 221.1人時間/時	平日ピーク時渋滞損失時間 173.0人時間/時	平日ピーク時に 渋滞発生なし	解除

【位置図】札幌市豊平区月寒



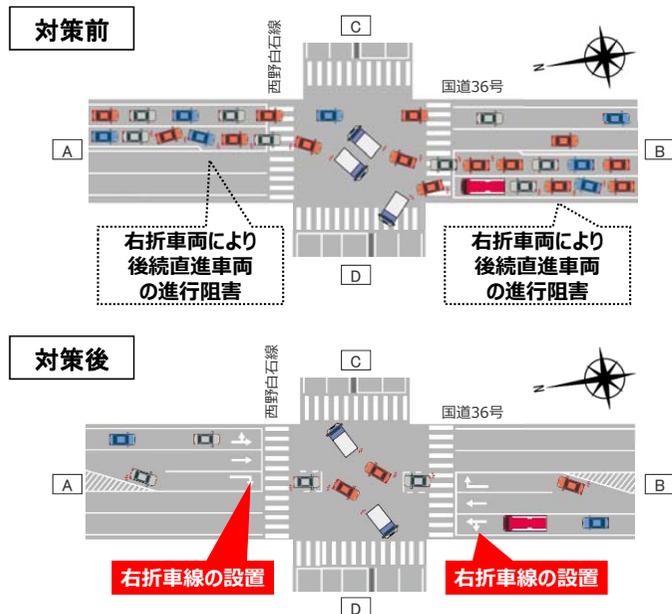
【渋滞状況の変化】

■ 渋滞損失時間の推移

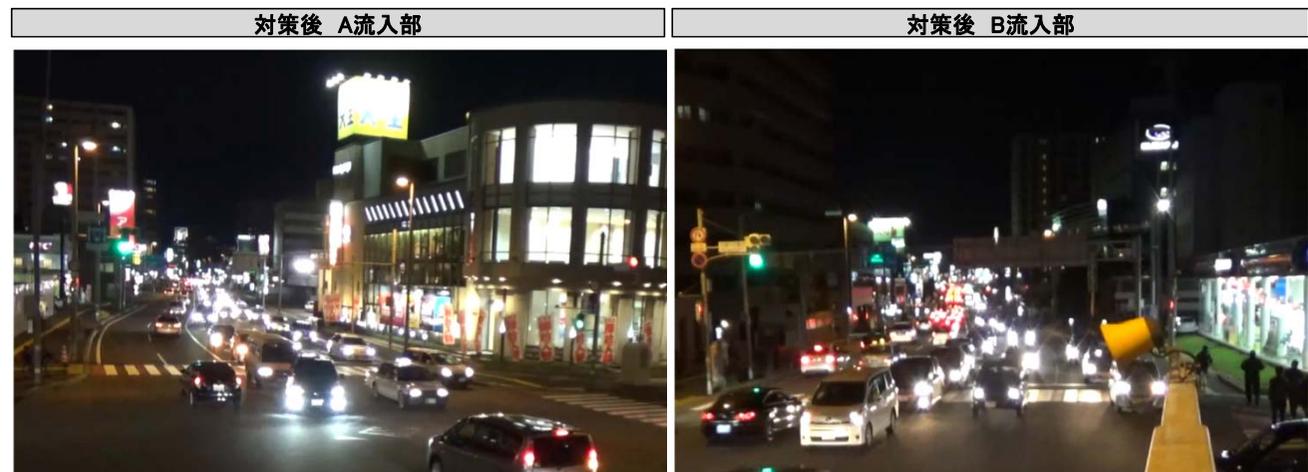


※渋滞損失時間とは、基準旅行時間と混雑時旅行時間の差に対して、交通量および1台あたりの乗車人数を掛け合わせた値
※ピーク時渋滞損失時間は、7-19時の1時間ごとに全方向の渋滞損失時間を合計し、各時間のうち、最も大きい合計値を使用

【対策内容】右折車線設置(主)



■ 現地調査結果



【1206】一般国道5号×道道函館上磯線（意見箇所）：函館都市圏WG

○ カラー舗装および函館新外環状道路（函館IC～赤川IC）による交通転換の効果により、平日ピーク時旅行速度が20km/h以上に改善。また、H28年度の現地調査においても渋滞が発生していないことを確認。

⇒主要渋滞箇所の指定を解除する。

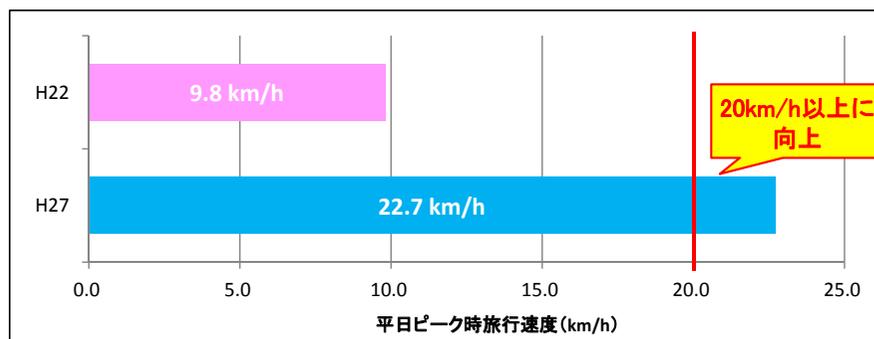
完了対策			2軸(平日)条件による 対策前評価	2軸(平日)条件による H27評価	現地確認 H28結果	解除判定
対策内容	実施主体	完了年度				
カラー舗装 函館新外環状道路 (函館IC～赤川IC)	北海道開発局	H24 H26	平日ピーク時旅行速度 9.8km/h	平日ピーク時旅行速度 22.7km/h	平日ピーク時に 渋滞発生なし	解除

【位置図】函館市石川町

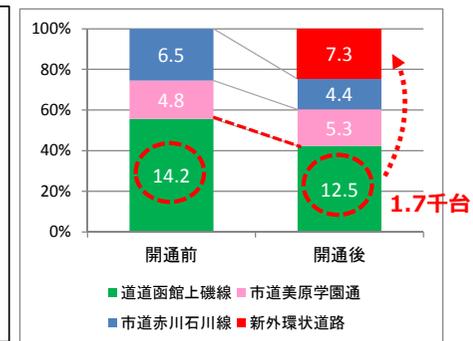


【渋滞状況の変化】

■ 旅行速度の推移

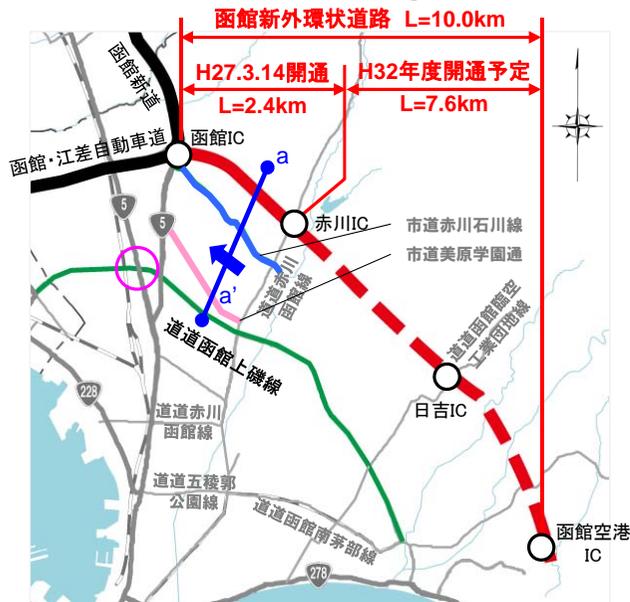


【交通量の変化】 (a-a'断面 (湯川⇒北斗))



出典：交通量調査（開通前H25.9、開通後H28.9）
※グラフ内の数値は流入交通量(千台/12h)

【対策内容】函館新外環状道路(函館IC～赤川IC)



■ 現地調査結果



【1217】一般国道5号×市道赤川石川線（意見箇所）：函館都市圏WG

○ 函館新外環状道路（函館IC～赤川IC）による交通転換の効果により、冬期平日ピーク時旅行速度が20km/h以上に改善。また、H28年度の現地調査においても渋滞が発生していないことを確認。

⇒主要渋滞箇所の指定を解除する。

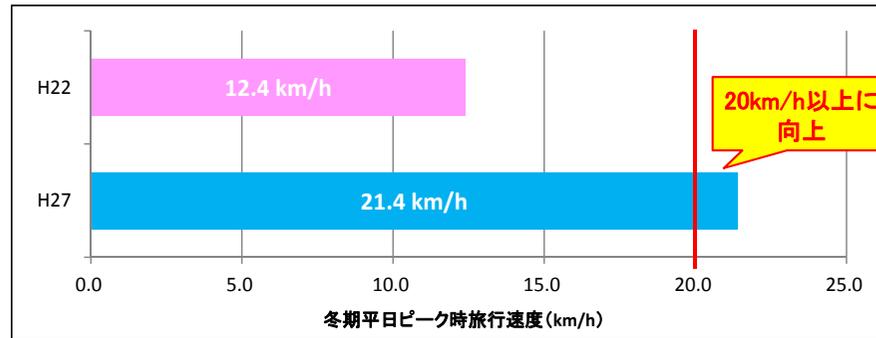
完了対策			3軸(冬期)条件による 対策前評価	3軸(冬期)条件による H27評価	現地確認 H28結果	解除判定
対策内容	実施主体	完了年度				
函館新外環状道路 (函館IC～赤川IC)	北海道開発局	H26	冬期平日ピーク時旅行速度 12.4km/h	冬期平日ピーク時旅行速度 21.4km/h	冬期平日ピーク時に 渋滞発生なし	解除

【位置図】函館市石川町

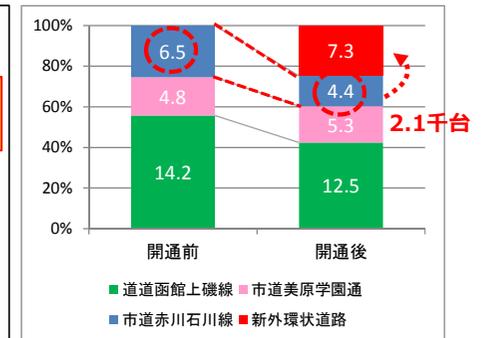


【渋滞状況の変化】

■旅行速度の推移



【交通量の変化】 (a-a'断面(湯川⇒北斗))



【対策内容】函館新外環状道路(函館IC～赤川IC)



■現地調査結果



出典：交通量調査(開通前H25.9、開通後H28.9)
※グラフ内の数値は流入交通量(千台/12h)

【1218】 函館江差道×国道5号(函新) (意見箇所):函館都市圏WG

○ 函館新外環状道路(函館IC～赤川IC)による交通転換の効果により、冬期平日ピーク時旅行速度が20km/h以上に改善。また、H28年度の現地調査においても渋滞が発生していないことを確認。
 ⇒主要渋滞箇所の指定を解除する。

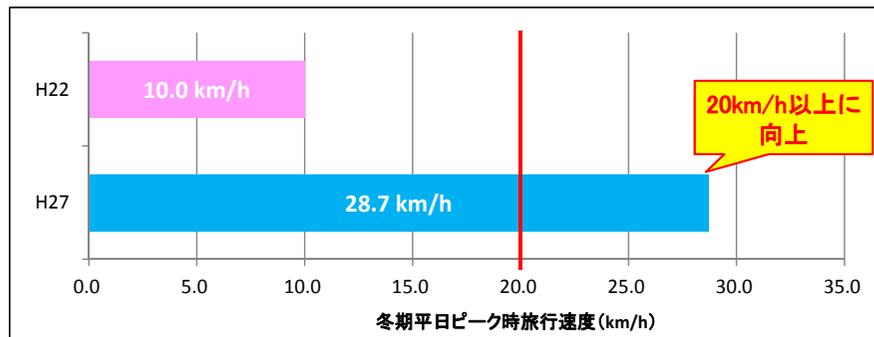
完了対策			3軸(冬期)条件による 対策前評価	3軸(冬期)条件による H27評価	現地確認 H28結果	解除判定
対策内容	実施主体	完了年度				
函館新外環状道路 (函館IC～赤川IC)	北海道開発局	H26	冬期平日ピーク時旅行速度 10.0km/h	冬期平日ピーク時旅行速度 28.7km/h	冬期平日ピーク時に 渋滞発生なし	解除

【位置図】 函館市桔梗町

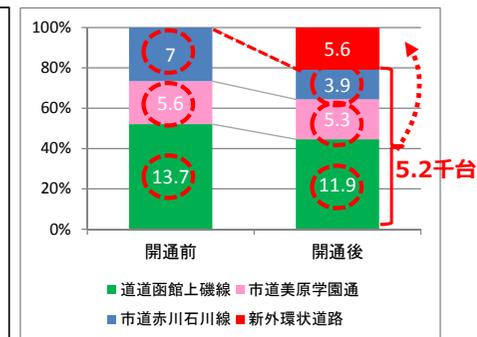


【渋滞状況の変化】

■ 旅行速度の推移

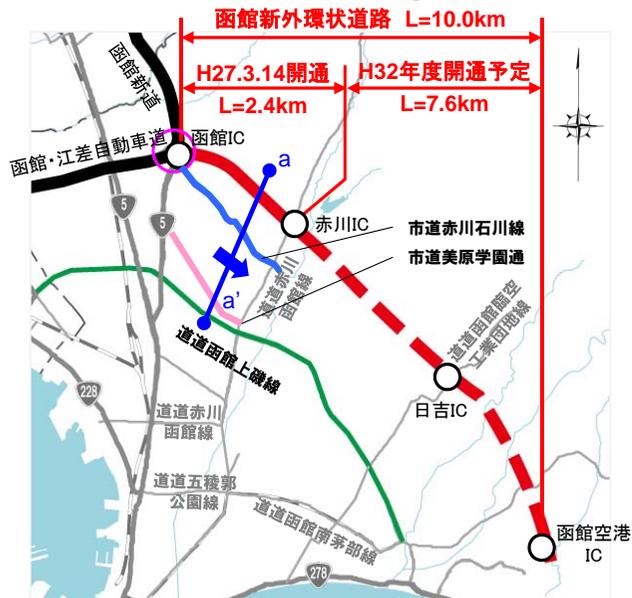


【交通量の変化】 (a-a'断面 (湯川⇒北斗))



出典：交通量調査(開通前H25.9、開通後H28.9)
 ※グラフ内の数値は流入交通量(千台/12h)

【対策内容】 函館新外環状道路(函館IC～赤川IC)



■ 現地調査結果



【38】一般国道276号×八幡通(町道) (意見箇所):個別検討箇所(小樽開発建設部)

○ 一般国道276号岩内共和道路の整備による交通転換の効果により、冬期平日ピーク時旅行速度が20km/h以上に改善。また、H28年度の現地調査においても渋滞が発生していないことを確認。

⇒主要渋滞箇所の指定を解除する。

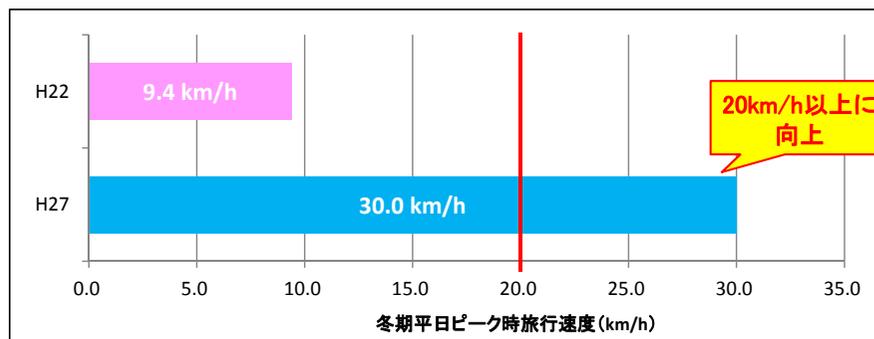
完了対策			3軸(冬期)条件による 対策前評価	3軸(冬期)条件による H27評価	現地確認 H28結果	解除判定
対策内容	実施主体	完了年度				
一般国道276号 岩内共和道路	北海道開発局	H26	冬期平日ピーク時旅行速度 9.4km/h	冬期平日ピーク時旅行速度 30.0km/h	冬期平日ピーク時に 渋滞発生なし	解除

【位置図】岩内郡共和町

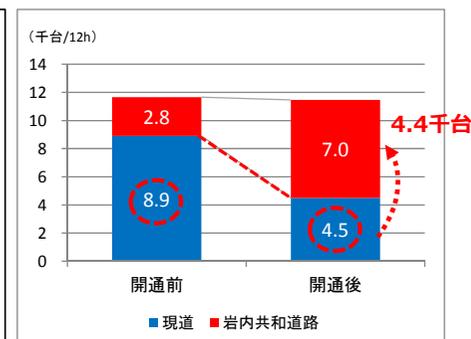


【渋滞状況の変化】

■ 旅行速度の推移



【交通量の変化】



出典:交通量調査(開通前H25.8.15、開通後H27.8.15)

■ 現地調査結果

【対策内容】一般国道276号 岩内共和道路



対策前 B流入部



対策後 B流入部



【48】一般国道36号×道道中央東線（2軸）:個別検討箇所(室蘭開発建設部)

○ 右折車線設置・すべり止め・カラー舗装の効果により、休日ピーク時旅行速度が20km/h以上に改善。また、H28年度の現地調査においても渋滞が発生していないことを確認。

⇒主要渋滞箇所の指定を解除する。

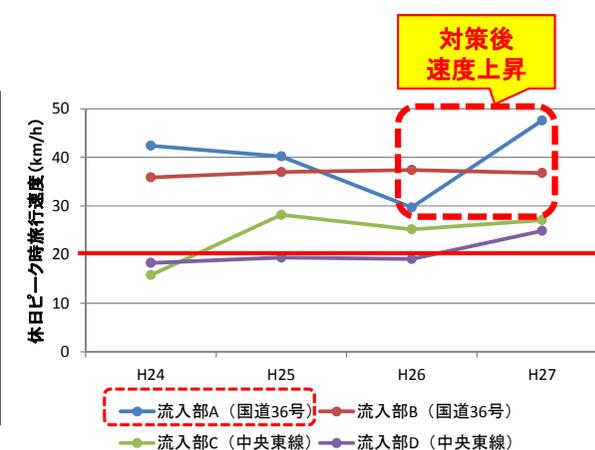
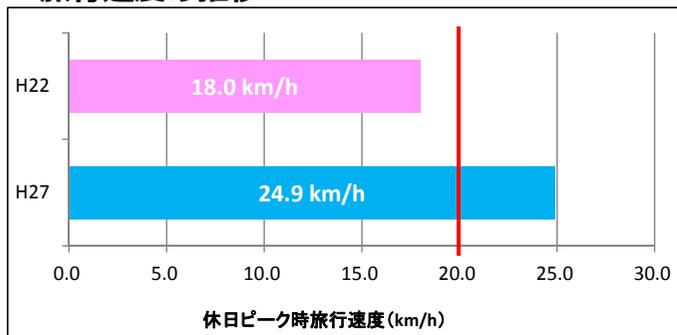
完了対策			選定時条件による 対策前評価	選定時条件による H27評価	現地確認 H28結果	解除判定
対策内容	実施主体	完了年度				
右折車線設置、すべり止め・カラー舗装	北海道開発局	H26	休日ピーク時旅行速度 18.0km/h	休日ピーク時旅行速度 24.9km/h	休日ピーク時に渋滞発生なし	解除

【位置図】室蘭市東町

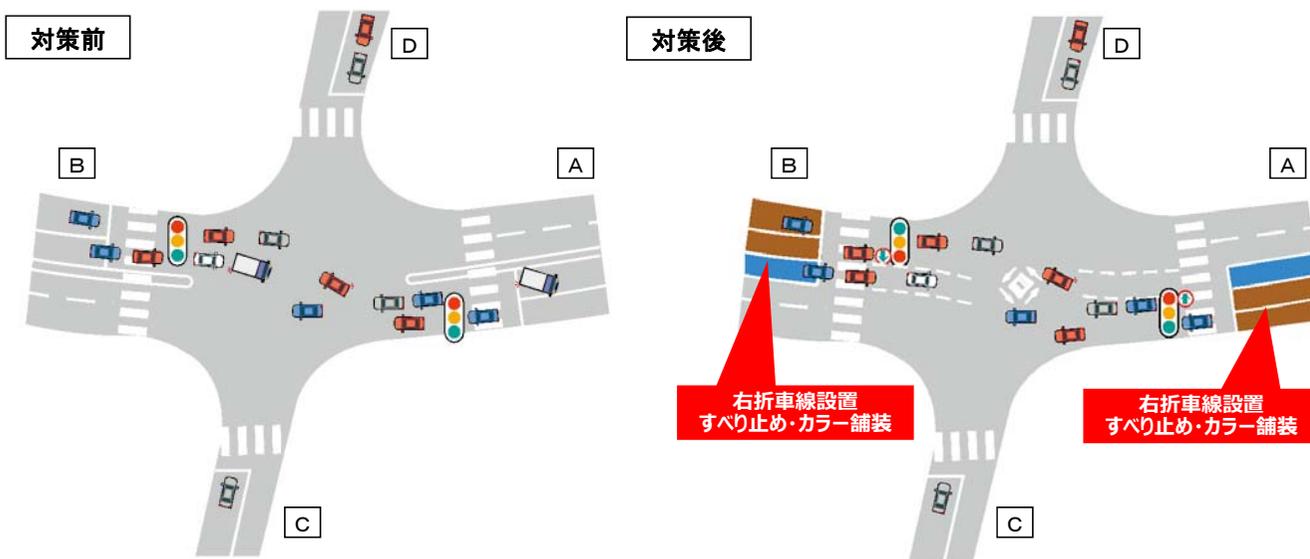


【渋滞状況の変化】

■旅行速度の推移



【対策内容】右折車線設置、すべり止め・カラー舗装



■現地調査結果



【49】一般国道36号×一般国道37号（3軸(冬期)）:個別検討箇所(室蘭開発建設部)

○ 右折車線延伸・すべり止め・カラー舗装の効果により、冬期平日ピーク時旅行速度は20km/h以上に改善。また、H28年度の現地調査においても渋滞が発生していないことを確認。

⇒主要渋滞箇所の指定を解除する。

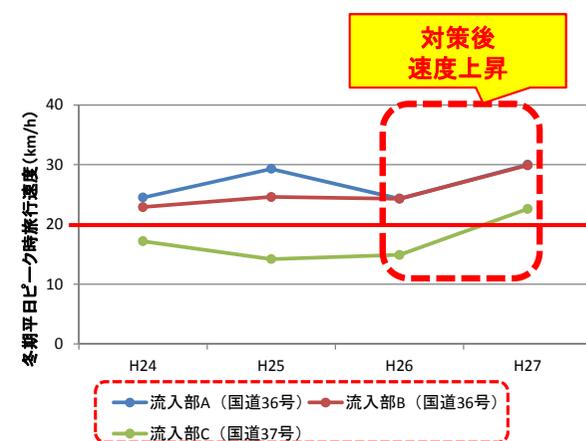
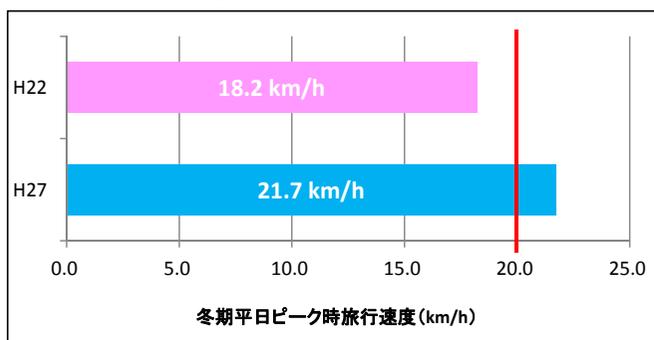
完了対策			選定時条件による 対策前評価	選定時条件による H27評価	現地確認 H28結果	解除判定
対策内容	実施主体	完了年度				
右折車線延伸、すべり止め・カラー舗装	北海道開発局	H26	冬期平日ピーク時旅行速度 18.2km/h	冬期平日ピーク時旅行速度 21.7km/h	冬期平日ピーク時に渋滞発生なし	解除

【位置図】室蘭市東町

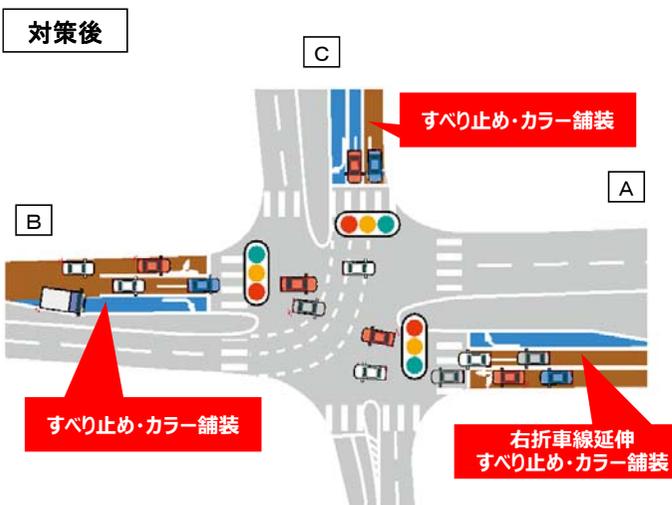
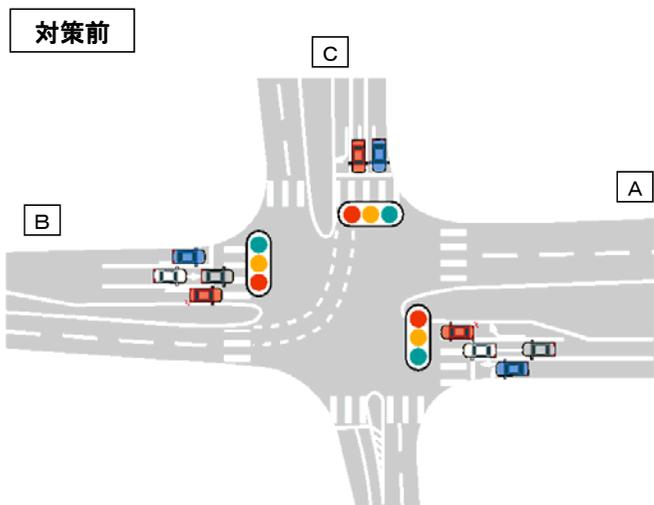


【渋滞状況の変化】

■旅行速度の推移



【対策内容】右折車線延伸、すべり止め・カラー舗装



■現地調査結果

対策後 B流入部



【17】 一般国道12号×平和通(市道) (意見箇所):札幌都市圏WG

○ 右折車線設置(主道路側)および大谷地駅前通バイパスの対策後、国道12号の冬期平日ピーク時旅行速度は向上しているが、平和通(市道)においては、冬期平日ピーク時旅行速度が20km/h以下である。H28年度の現地調査では渋滞発生を確認。⇒次年度以降もモニタリングを継続し、必要に応じて追加対策を検討する。

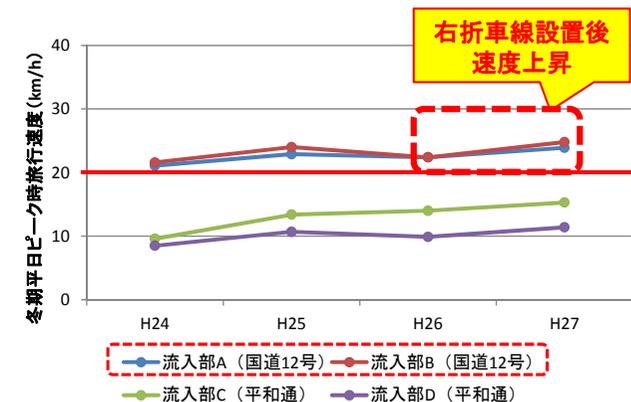
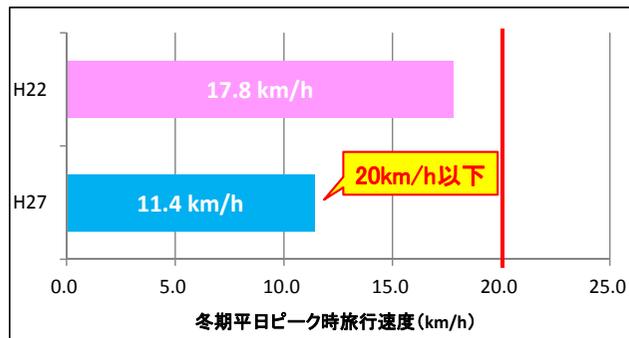
完了対策			3軸(冬期)条件による 対策前評価	3軸(冬期)条件による H27評価	現地確認 H28結果	解除判定
対策内容	実施主体	完了年度				
大谷地駅前通バイパス 右折車線設置(主道路側)	札幌市 北海道開発局	H25 H26	冬期平日ピーク時旅行速度 17.8km/h	冬期平日ピーク時旅行速度 11.4km/h	冬期平日ピーク時に 渋滞発生	モニタリング継続

【位置図】 札幌市厚別区厚別中央

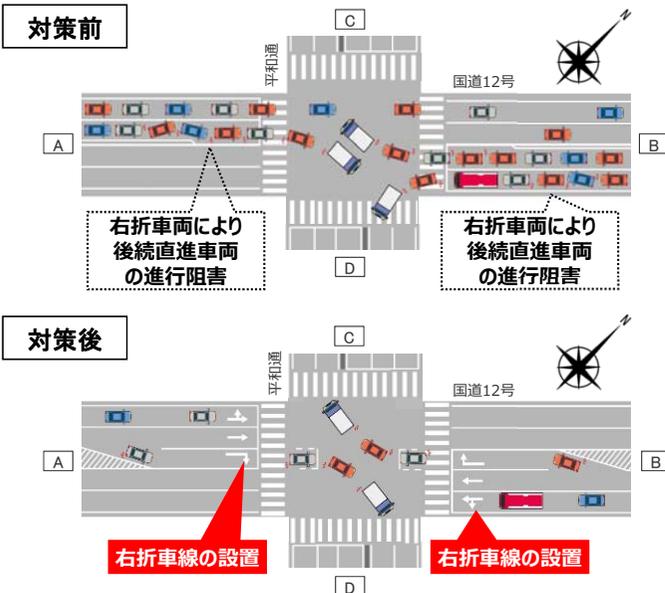


【渋滞状況の変化】

■ 旅行速度の推移



【対策内容】 右折車線設置 (主)



■ 現地調査結果



【122】 一般国道453号×道道札幌環状線 (2軸(平日)):札幌都市圏WG

○ 右折車線設置(主道路側)の対策後、国道側(流入部A・B)の平日ピーク時旅行速度が向上しているが、閾値である20km/h程度であり、大きな改善は見られない。H28年度の現地調査では渋滞発生を確認。

⇒次年度以降もモニタリングを継続し、必要に応じて追加対策を検討する。

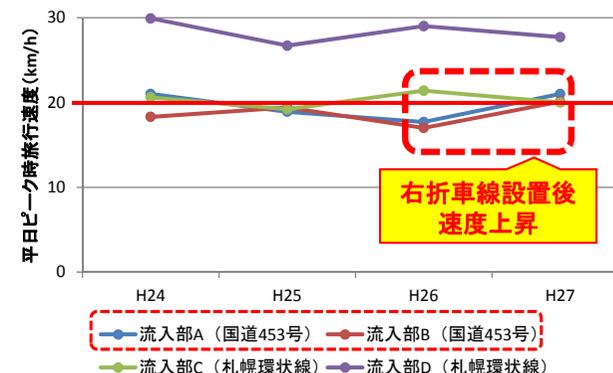
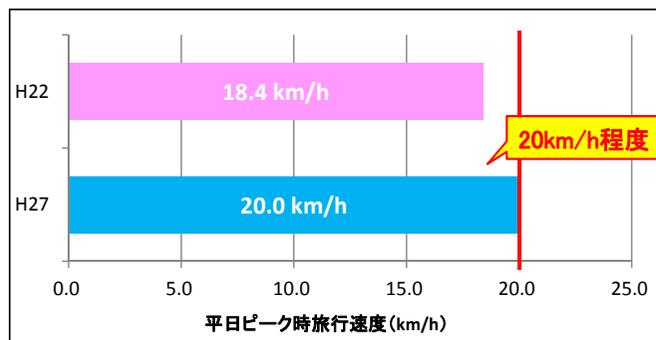
完了対策			選定時条件による 対策前評価	選定時条件による H27評価	現地確認 H28結果	解除判定
対策内容	実施主体	完了年度				
右折車線設置 (主道路側)	北海道開発局	H26	平日ピーク時旅行速度 18.4km/h	平日ピーク時旅行速度 20.0km/h	平日ピーク時に 渋滞発生	モニタリング継続

【位置図】 札幌市豊平区平岸

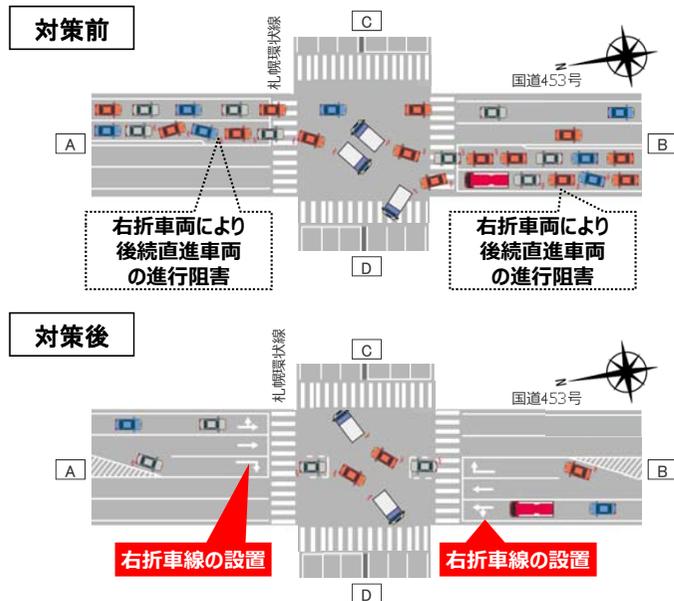


【渋滞状況の変化】

■ 旅行速度の推移



【対策内容】 右折車線設置 (主)



■ 現地調査結果



【123】一般国道453号×道道西野白石線（2軸(平日)）:札幌都市圏WG

○ 右折車線設置(主道路側)の効果により、国道側(流入部A・B)の平日ピーク時旅行速度が向上しているが、平日ピーク時旅行速度が20km/h以下である流入部が依然として存在。H28年度の現地調査では渋滞発生を確認。

⇒次年度以降もモニタリングを継続し、必要に応じて追加対策を検討する。

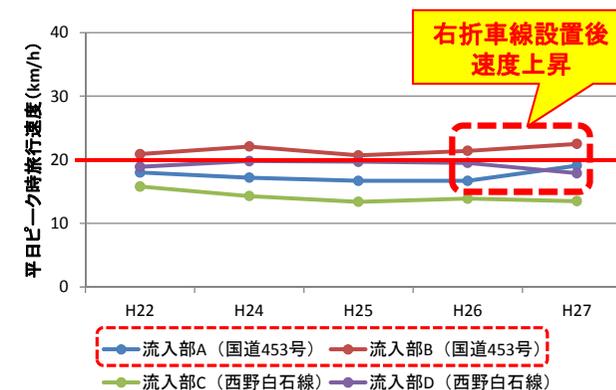
完了対策			選定時条件による 対策前評価	選定時条件による H27評価	現地確認 H28結果	解除判定
対策内容	実施主体	完了年度				
右折車線設置 (主道路側)	北海道開発局	H26	平日ピーク時旅行速度 15.8km/h	平日ピーク時旅行速度 13.5km/h	平日ピーク時に 渋滞発生	モニタリング継続

【位置図】札幌市豊平区平岸

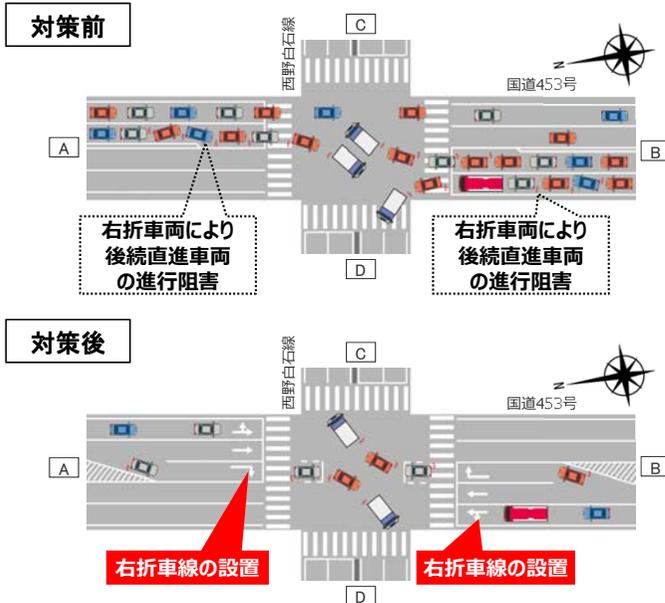


【渋滞状況の変化】

■ 旅行速度の推移



【対策内容】右折車線設置 (主)



■ 現地調査結果



【64】 一般国道231号×栄町2号通(市道)(3軸(大型商業施設)):個別検討箇所(留萌開発建設部)

○ 一般国道231・232号 留萌拡幅の効果により、国道231号および市道東岸通りの休日ピーク時旅行速度が改善。しかし、市道早道通りにおいては、速度20km/hを下回っている。H28年度の現地調査では渋滞発生を確認。
 ⇒次年度以降もモニタリングを継続し、必要に応じて追加対策を検討する。

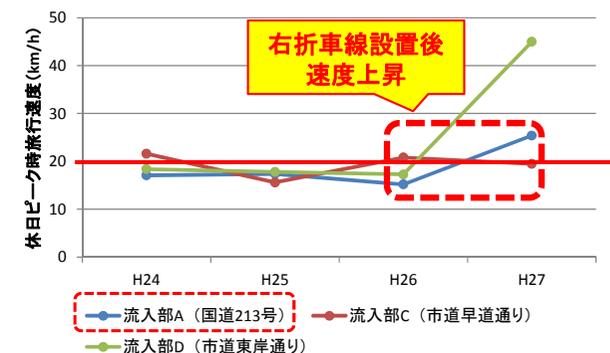
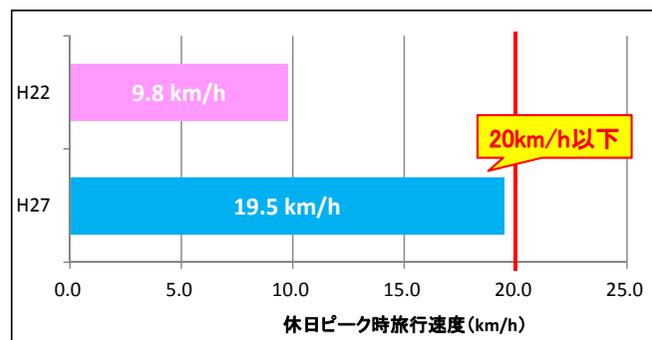
完了対策			選定時条件による 対策前評価	選定時条件による H27評価	現地確認 H28結果	解除判定
対策内容	実施主体	完了年度				
一般国道231・232号 留萌拡幅	北海道開発局	H26	休日ピーク時旅行速度 9.8km/h	休日ピーク時旅行速度 19.5km/h	休日ピーク時に 渋滞発生	モニタリング継続

【位置図】 留萌市栄町

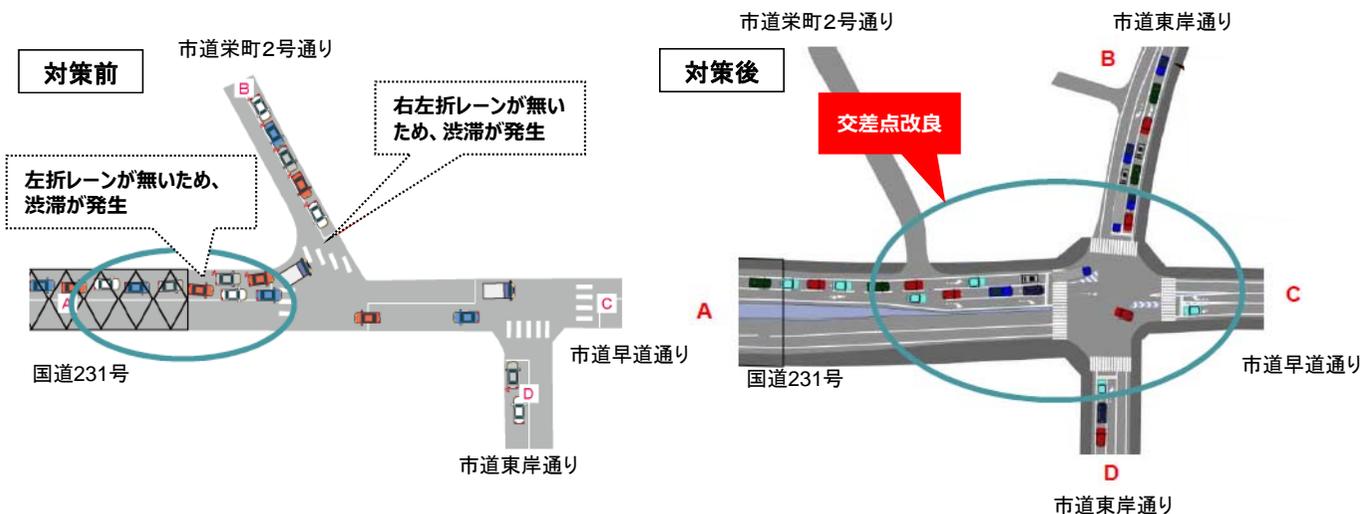


【渋滞状況の変化】

■ 旅行速度の推移



【対策内容】 一般国道231・232号 留萌拡幅



■ 現地調査結果



6. H30主要渋滞箇所解除候補箇所

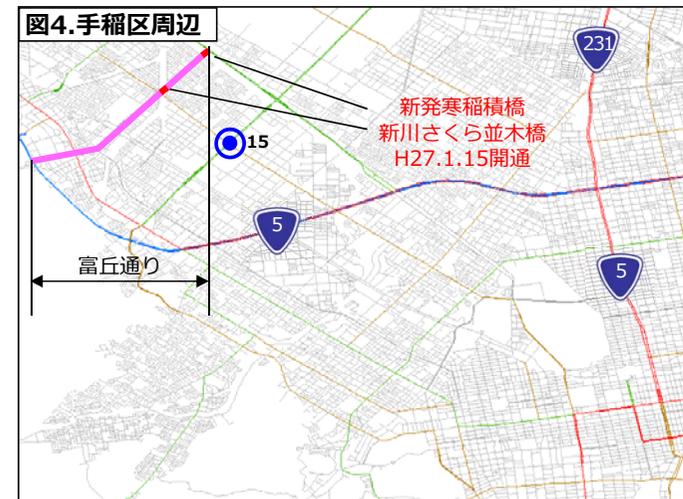
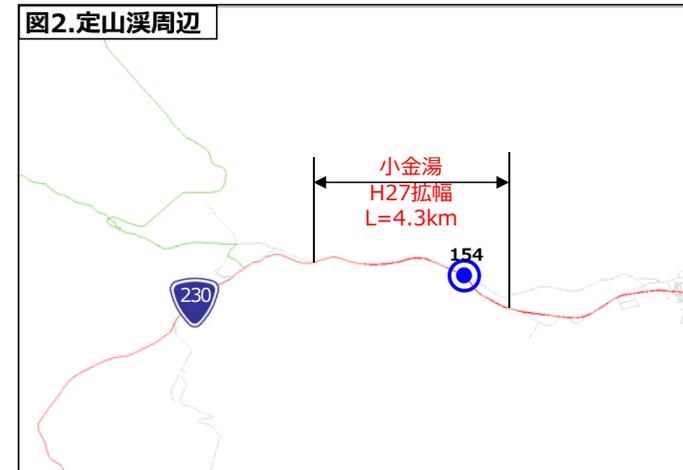
■ H29年度 解除検討箇所(現地確認箇所)

○H27年度までに対策が実施された14箇所について、今年度、最新の交通データ(H28年データ)によるモニタリングを行うとともに、各都市圏WG等で現地確認を実施し、主要渋滞箇所の指定の解除を検討。

<H27年度対策完了箇所一覧(1/2)>

🕒 H27対策により、H29年度に見直しを検討する箇所(予定)

箇所名	協議会	対策内容	実施主体	完了年度	図No
120 一般国道12号×一般国道275号	札幌都市圏	右左折車線設置 交差点拡幅	北海道開発局	H25 H27	1
154 一般国道230号×市道小金湯東連絡線	個別(札幌)	小金湯拡幅	北海道開発局	H27	2
155 一般国道337号×道道札幌当別線	札幌都市圏	当別バイパス	北海道開発局	H27	3
156 一般国道337号×道道札幌当別線	札幌都市圏	当別バイパス	北海道開発局	H27	3
15 道道札幌北広島環状線×道道下手稲札幌線	札幌都市圏	富丘通り(バイパス)	札幌市	H27	4



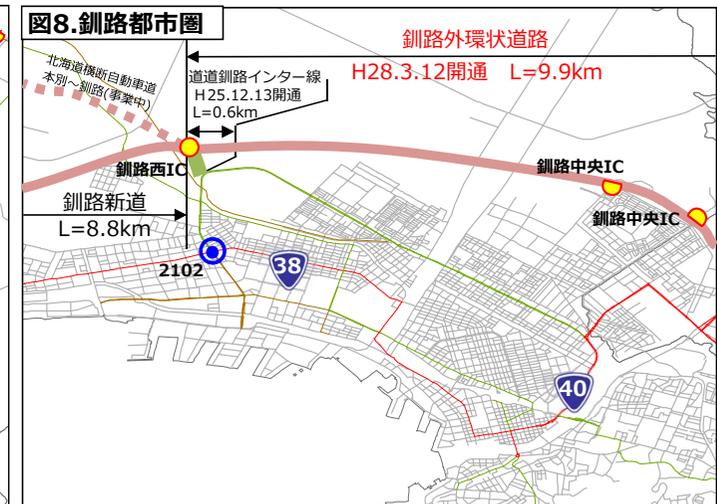
■H29年度 解除検討箇所(現地確認箇所)

〇H27年度までに対策が実施された14箇所について、今年度、最新の交通データ(H28年データ)によるモニタリングを行うとともに、各都市圏WG等で現地確認を実施し、主要渋滞箇所の指定の解除を検討。

<H27年度対策完了箇所一覧(2/2)>

🕒 H27対策により、H29年度に見直しを検討する箇所(予定)

箇所名	協議会	対策内容	実施主体	完了年度	図No
1207 道道函館南茅部線×道道五稜郭公園線	函館都市圏	電停移設	函館市	H27	5
56 一般国道5号×美原学園通(市道)	函館都市圏	函館新外環状道路 右左折レーン設置 石川4号線(美原学園通り) 信号現示調整(右折矢)	北海道開発局 北海道開発局 函館市 北海道警察	H26 H27 H27 H27	
1414 一般国道39号×市道新旭川東幹線通1号線	旭川都市圏	花咲通り街路事業 右折車線延伸	旭川市 北海道開発局	H25 H27	6
1415 一般国道39号×金星橋通(市道)	旭川都市圏	花咲通り街路事業	旭川市	H25	
58 一般国道39号×花咲通(市道)	旭川都市圏	右折車線設置	北海道開発局	H27	
1801 一般国道39号×新緑通(市道)	個別(網走)	北見道路整備 北海道横断自動車道(部分開通)	北海道開発局	H25	7
1802 一般国道39号 北見三輪複合商業施設	個別(網走)			H27	
1806 一般国道39号×道道置戸福野北見線	個別(網走)				
2102 一般国道38号×道道釧路環状線	釧路都市圏	釧路新道延伸 釧路インター線 釧路外環状道路(釧路東ICまで)	北海道開発局 北海道 北海道開発局	H25 H25 H27	8



7. 今後のスケジュール

- 今年度の都市圏WGは、平成30年2月頃に開催を予定。
- 次年度の協議会は、平成30年7月頃に開催を予定。

